

やない だより 議会

創刊号 平成17年5月12日発行

第1回 臨時会 2月22日

第1回 定例会 3月4日～18日

第2回 臨時会 4月6日



主 な 内 容

議会の構成	・ ・ ・ ・ ・	2
本会議の概要	・ ・ ・ ・ ・	4
一般質問	・ ・ ・ ・ ・	6
委員会の動き	・ ・ ・ ・ ・	7

大畠瀬戸のうずしお

大畠瀬戸の渦潮は、日本三大潮流の一つに数えられ、最大潮流は9ノット（時速約16.7km）です。渦はこっちにできた！と思うとすぐに消え、今度はあっち！という具合で、なかなか写真に撮れません。流れが非常に速いうえ、潮が湧き上がったり渦巻いたり、乗っていた船は、あっという間に流されて、ぐるりと一回転していました。

◎は委員長 ○は副委員長 (順不同)

新・柳井市議会始動！

議会の構成決まる

決算審査特別委員会 (9人)

◎藤沢 宏司
○川崎 孝昭
山本 正義
仁川 悦治
河北 洋子
河村 真ら
上田代根子
杉村 英子
田中 晴美

議会運営委員会

(15人)

◎松野 利夫
○福谷 泰男
川崎 孝昭
山本 正義
東 泰雄
仁川 悦治
藤沢 宏司
山本 達也
増浜 哲之
田中 晴美
松本 俊郎
中次 安紀
小林 利之
鬼武 克享
藤里



議長 荒川貴志



副議長 松本周一

議会だより編集特別委員会

(6人)

◎鬼武 利之
○中元 茂雄
川崎 孝昭
光野 恵美子
福谷 泰男
藤坂 元啓

合併問題調査特別委員会 (32人)

◎中次 俊郎
○増浜 哲之
その他議員全員

総務文教常任委員会 (11人)



松本周一



光野恵美子



石丸東海



山本正義



○川崎孝昭



◎藤沢宏司

企画部・総務部・収入役・教育委員会・監査委員等の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項



東 俊道



賀原基和



増浜哲之



国広康子



坂ノ井 徳

厚生水道常任委員会（11人）



杉村英子



中原敏夫



東 泰雄



由良 猛



○河村真弓



◎河北洋子

市民部・健康
福祉部・水道
部の所管に関
する事項



藤里克享



鬼武利之



小林安紀



中次俊郎



中元茂雄

建設経済常任委員会（10人）



碓 敏雄



仁川悦治



松野利夫



松本哲男



○上田代根子



◎田中晴美

建設部・経済
部・農業委員
会の所管に関
する事項



藤坂元啓



荒川貴志



福谷泰男



山本達也

第1回臨時会

新市の初議会を開催！

平成17年第1回柳井市議会臨時会は2月22日(火)に招集され、会期を1日とし、次のことを審議しました。

最初に、新「柳井市議会」の正・副議長の選挙を行い、議長に荒川貴志議員、副議長に松本周一議員が選出されました。

次に、議会を運営していく上で基本となる

①柳井市議会会議規則

②柳井市議会委員会条例

③柳井市議会事務局設置条例の3議案が、いずれも議員提出議案として上程され、慎重審議の上、原案のとおり可決されました。

その後、決算審査、議会たより編集、合併問題調査の3つの特別委員会を設置することを議決し、3つの常任委員会及び議会運営委員会とあわせて特別委員会の委員の選任、正・副委員長の互選などを行いました。(各委員会の構成については、2～3頁参照)

その他に、次の各一部事務組合の議会議員の選挙を行い

ました。

①柳井地区広域事務組合

②柳井地域広域水道企業団

③柳井地区広域消防組合

④周東環境衛生組合

また、農業委員会委員(議会が推薦する学識経験を有する者)の推薦、その他の各種委員会委員等の選出を行い、新「柳井市」として初めての臨時会を閉会しました。

第1回定例会

平成17年度の暫定予算などを可決

合併後の初めての定例会となる平成17年第1回柳井市議会定例会は3月4日(金)に招集され、18日までの15日間の会期日程で開催されました。



柳井市議場

柳井市役所の位置を定める条例など、合併に伴う新市発足に欠かせないもの及び住民生活・サービスに直結している172件の条例や、平成16年度新市暫定予算(16件)など、2月21日に専決処分された25件の承認、また平成17年度新市暫定予算(16件)など執行部提出の28議案と議員提出の1議案のあわせて29議案、そして報告1件が上程、審議され、多くの議案は各常任委員会への付託を経て、いずれも慎重審議の上、原案のとおり可決されました。

また、今回の定例会には、請願2件、陳情2件が提出されました。主な議案等とその取扱い結果については、別表のとおりです。

なお、3月8日に行われた一般質問は、4人の議員から9項目についての質問がありました。(一般質問の内容については、6～7頁参照)

主な議案とその内容

◎工事委託協定の一部変更

柳井市公共下水道根幹的施設(浄化センター)建設工事委託協定について、精算により協定金額を変更するものです。



第1回定例会 主な議案の審査結果

【議案】（すべて可決）

- 柳井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 柳井市手数料条例の一部改正について
- 大畠町商工業振興対策資金助成条例の廃止について
- 山口県自治会館管理組合への加入について
- 市町村の廃置分合に伴う山口県市町村災害基金組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 工事委託協定の一部を変更することについて
- 柳井市大畠観光センターの指定管理者の指定について
- アクティブやないの指定管理者の指定について
- 月性展示館の指定管理者の指定について
- 訴えの提起等をする事について
- 平成17年度柳井市一般会計暫定予算
- 平成17年度柳井市特別会計暫定予算（14件）
- 工事請負契約の締結について

【承認】（すべて承認）

- 専決処分の承認を求めることについて（25件）

【議員提出議案】（可決）

- 市長の専決処分事項の指定について

【請願】（いずれも継続審査）

- 上関原発建設反対を求める請願書
- 上関原子力発電所の建設促進を求める請願書

【陳情】（配付読み上げ）

- 公務員給与構造の「見直し」に関する陳情書
- 「障害のあるすべての子どもたちの豊かな発達を保障する教育条件整備を求める意見書」の採択を求める陳情書

◎公の施設の指定管理者
・柳井市大畠観光センター
・大畠産業振興協会
・アクティブやない
・社団法人 柳井地域シルバー人材センター
・月性展示館
・財団法人 僧月性顕彰会

◎平成17年度柳井市一般会計並びに各特別会計暫定予算（14件）
本予算（通年予算）が成立するまでのつなぎ予算として、4月から6月までに必要な経費を計上したものが17年度の暫定予算です。

度
の
暫
定
予
算
で
す。
歳
出
で
は
人
件
費、
扶
助
費
な
ど
の
義
務
的
経
費
や、
ご
み
処
理
等
の
市
民
生
活
に
直
結
し
た
経
費
や
公
共
施
設
の
維
持
管
理
経
費
等
の
経
常
的
経
費、
ま
た
早
期
着
手
を
要
す
る
工
事
費、
災
害
復
旧
費
な
ど
が
計
上
さ
れ
て
い
ま
す。

◎工事請負契約の締結

柳井小学校建設（第1期）建築工事について、指名競争入札の結果、井森工業株式会社と工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるものです。

第2回臨時会

監査委員の選任

平成17年第2回柳井市議会臨時会は4月6日（水）に招集され、会期を1日と決定し、河内山哲朗柳井市長のあいさつの後、監査委員選任についての同意議案2件が上程され、いずれも議会として同意することに決定しました。

選任が同意された監査委員は、次の方々です。（敬称略）
（意見を有する者） 上山明徳（議会議長） 賀原基和



飯の山からの展望

防災対策・学校の安全対策
どのように考える？

仁川悦治議員

問 防災対策として、災害に強いまちづくりの施策をどう考えるか？

①ハザードマップの取組み
②自主防災組織の強化拡大のために、防災人材バンクの登録とリーダー養成の指導
③県の支援事業活用
答 南海地震に対応するため地域防災計画（震災対策編）の見直しを行った。また合併に伴い、暫定版地域防災計画を策定し、万一の事態に備えている。

ハザードマップについては県が県内各地の現況調査や浸水予測等の調査を行い、そのデータを市町村に提供することとしており、それをもとに今後の整備について引き続き検討したいと考えている。

災害時には自主防災組織の果たす役割は極めて大きく、リーダーの存在は重要である。組織活性化には欠かせない問題であり、組織化を高める方策のひとつだと思う。

問 大阪府の寝屋川小・池田小の例を見るまでもなく、校内や登下校をねらった子どもたちの被害が多発している。子どもたちを犯罪から守るためには、地域のみならずしっかりと見守っていくことが大切である。学校・地域住民・保護者が一体となって取り組むためには、どうするか？

①地域における自主防犯活動の進め方
②学校内外での危険管理のマニュアルをどう作成する？
答 当市でも類似した事件を防止すべく、各学校が作成した安全マニュアルに沿った訓練など様々な取組みを展開している。平成15年度から正式に立ち上げた学校支援ボランティアも活動の輪が全市に広がってきた。

柳井に住む人々が子どもを守りたいという強い心の絆で結び合い、安全と安心のまちづくりを推進したい。

え下さい。

答 今年4月から日積中、伊陸中、柳井中が統廃合され、新「柳井中学校」となる。統廃合により、学校に適応できにくい生徒も予想されるので、

統廃合による加配教員や非常勤講師を配置し、早期対応ができる体制を整えたい。

また、柳井中には17年度もスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の相談に乗れる体制を整えている。

問 新市になり児童クラブ運営方法は、旧大畠町児童クラブの運営に合わせ6時までの時間延長・土曜日開設などサービス向上につながりました。その反面、指導員の雇用に関しては、旧柳井市の内規にて雇用期間は最高5年となり、今までの指導員の方で経験豊かな児童・保護者・地域の方にとって不可欠な指導員が勤務できなくなりました。また、一度に元指導員がいなくなるクラブがあります。このことは、児童・保護者にとつては大きな問題となり、指導員の継続雇用を望む声があがっています。市のクラブの要綱にも掲げてある「家庭的な環境にて心の安らぎを与え温かい指導にて健全育成に努める」とある市のクラブ要綱に基づく児童クラブづくりのためにも、指導員の雇用条件の見直しをする考えはありませんか？

答 雇用の機会均等の観点から、広報により登録制で募集

している。児童との人的関係も重要であり、年度ごとの契約をしている。共働き世帯の増加に伴い、児童クラブの需要が年毎に増加していること

ウェルネスパークのプール
健全運営の方策は？

河北洋子議員

問 本年7月にオープンするプールは維持管理費も多めで、赤字補填に市の持ち出しが大きいのではないかと心配される。入場料、入場者見込み、収支計画についての試算、運営主体はどこか、赤字への県の負担はないのか？

答 県が建設設置し、市が管理委託を受け総括管理をし、NPO法人に委託する予定である。県の試算数値では収入約4920万円、支出約8350万円を見込んでいる。

問 近隣の民間プールの営業を圧迫するのではないかと懸念があるが、競合の回避・共存策についてどのように考えているか？

制約のある中で利用者を呼び込むには相当な努力と工夫が必要である。近隣住民だけでなく、学生など水泳部の合宿誘致の情報を発信し、白壁の町並み・フラワランド観光との連携で遠方からの利用

から、指導員の増員による交代制を取り入れ、開設時間の延長と土曜日を開設することとしている。

客を呼び込み、宿泊してもらうことで経済効果が期待できるのではないかと？

答 県も交えて共存共助に向け協議を重ねてきた。それぞれの特徴を生かし、役割分担のもと地域住民の健康づくりに寄与していく。また、利用者拡大のためのPRに努め、フラワランド供用開始後は連携して利用拡大を考えていきたい。

問 プールに使用する大量の水の排水はどう処理するのか。

答 水利用の基本システムはろ過装置を使って循環させる節水型、水源は水道水。

問 介護保険の見直しで介護予防推進の方向が打ち出されているが、プール内のフィットネスルームを介護予防筋力トレーニングなどに利用できないか？

答 施設利用は利用形態、年齢等に合わせた調整が可能であり、関係各課連携し、幅広い世代での利用に努めていきたい。

市財政の将来予測は？
政府増税政策による影響？
東 泰雄議員

問 市財政の将来予測についてお尋ねします。

市町村合併の議論の中で、合併すれば地方交付税は維持されるが、合併しなければ削減されると説明されてきました。しかし政府は、合併しても地方交付税を削減し、地方への税源移譲も期待を裏切っています。

将来の柳井市の地方交付税について、どのように予測しておられるのでしょうか？

答 合併に関わる財政支援措置は合併の第一義ではないが、交付税措置や合併特例債、補助金等があり、行財政改革を含めた新たな町づくりを進めていく上で、合併は重要な選択肢の一つであった。

二位一体改革で毎年度改革の対象となっており、将来的な数値の把握は難しい。今後の動向に注意深く目を向け、対応していきたい。

問 政府の増税政策による市民への影響についてお尋ねします。

配偶者特別控除（最高38万円）が廃止され、さらに定率減税（所得税20%、住民税

15%）の縮減・廃止、老年者控除（65歳以上、所得税50万円、住民税48万円）の廃止さらに、雑所得の公的年金等控除の縮小などが予定されています。これらは、高齢者や低所得者への増税になります。

委員会の動き

総務文教常任委員会

委員長 藤沢宏司

本委員会では議案4件、分割付託議案1件、閉会中の付託調査事項について審査を行いました。

旧大島町にある月性展示館の指定管理者を財団法人僧月性顕彰会にする議案では、指定管理者の考え方について質疑があり、元々僧月性顕彰会から展示物等重要な物の寄託を受けた経緯、これまでの管理運営状況等から判断をした

が、指定先は、年度毎に検討することの説明がありました。

柳井小学校建築工事第1期

かがでしょうか。
高齢者や低所得者に対し、大きな負担増にならないよう要望します。

答 所得や住民税課税・非課税による影響があるが、必ずしも上がるとは限らない。保育料は合併の調整によりトータル的には引き下げの方向。現段階では、個々の影響額についてはお答えできかねる。

工事の請負契約を井森工業株式会社と締結する議案は、柳井小学校耐震診断により建て替えが必要になり、今回特別教室等を建築するもので、本体工事以外に電気設備工事、機械設備工事、エレベーター工事それぞれ契約を行っているとの説明がありました。

また工事は授業をしている小学校内で行われるため生徒の安全確保は十分にしている」と委員会として要望しました。各議案とも慎重に審査を行い、全議案全員異議なく可決されました。



月性展示館

厚生水道常任委員会

委員長 河北洋子

本委員会は議案9件、請願2件について審査しました。

一般会計暫定予算の内、合併に伴い変更のあった事業は障害者タクシードラッグ事業割引証発行事業、交通災害共済事業、訪問理美容サービス事業、高齢者福祉タクシードラッグ事業など、住民の皆様にも密接なものがあります。

主な質疑は、身体・知的・精神の各障害者施策について、老人給食サービス、寝具乾燥の利用拡大、児童クラブ

建設経済常任委員会

委員長 田中晴美

本委員会は、付託された議案13件について審査を行いました。

大島町商工業振興対策資金助成条例の廃止については、商工業の育成は、柳井市中小企業振興条例に一本化をして推進するものです。

工事委託協定の一部を変更することについては、数年次にわたる浄化センター建設工事の全体について、地質の再調査、再検討、技術革新、入札差金などで約2億9600

指導員の研修、公園の遊具点検、母子家庭自立支援の支援メニューの再考、休日夜間診療所の検討についてなど活発な質疑応答がありました。

合併後も柳井地区、大島地区で統一されていないサービスについて、今後も委員会として十分に審査してまいりたいと思います。

閉会中の付託調査事項は、地域福祉を総合的に推進するための「地域福祉計画について」と「環境に関する調査」を掲げ、調査研究することとしました。

万円の減額となるものです。

一般会計暫定予算の主なものは、JA南すおが導入予定の無人ヘリコプター（2機）の購入経費に対する補助が計上されています。これは農業担い手組織の労力軽減、適期防除、効率化を図るためのものであります。

特別会計暫定予算では、国民宿舎事業の運営委託費が計上されています。委託先は大島観光開発公社であるが、運営はきびしい状況であり、今後は民活も考え、運営方針を見直すときではないか等の質疑応答がありました。

議会運営委員会

委員長 松野利夫

議会運営委員会では、閉会中の付託調査事項として「議会の会期及び運営並びに議長の諮問に関する事項の調査」を申し出ることが決定されました。

さらに議長から、会派代表者会議の意見を受けての諮問事項として「施政方針に関する一般質問及び会派による代表質問のあり方」について、9月定例会を目標に答申をお願いしたいとの諮問がなされました。

ました。

これを受けて、本委員会では、このテーマで調査することを決定し、ただちに県内13市の状況の説明を受けました。

特に施政方針及び議案説明後に質問を受け付け、検討期間において質問を行っている6市について調査検討を行いました。

委員より様々な質問、意見が寄せられましたが、今後さらに、中国地方を対象に他市の状況を調査検討することに決定しました。

大畠ふれあい公園の桜

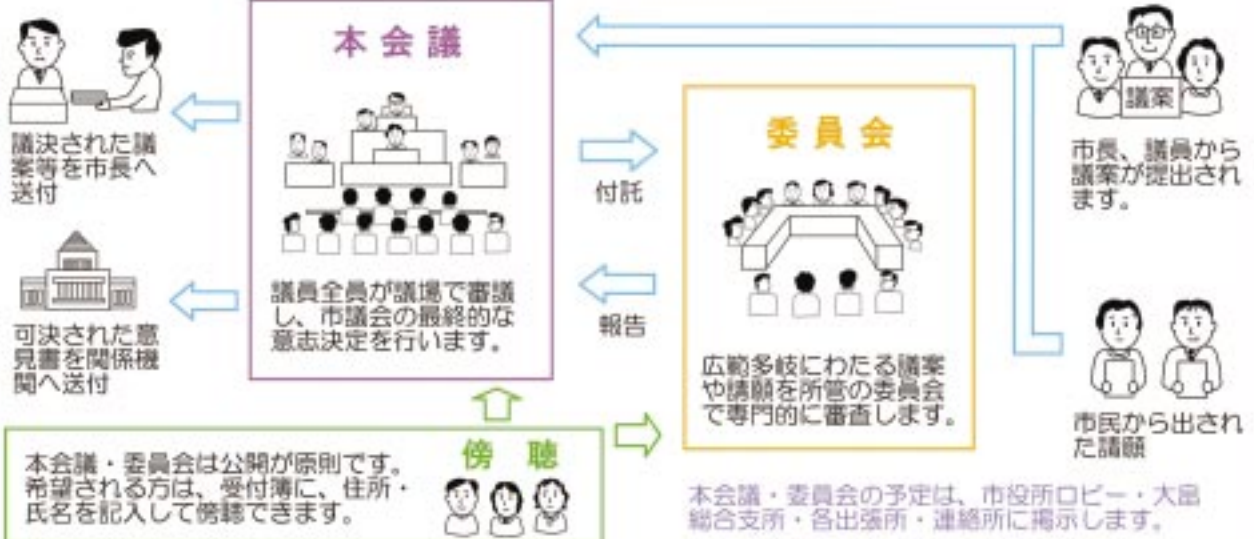


議会を傍聴しましょう

次の定例会は6月中旬に開催予定です。議場の傍聴席入り口は市役所6階です。お気軽にお越しください。お問い合わせは 議会事務局
電話 (0820) 22-2129までお願いします。

市議会の流れ

市議会には毎年3月・6月・9月・12月に開く定例会と、必要に応じて開く臨時会があります。



編集後記

新市の誕生後初めての定例会となった3月議会は、市長不在のなか専決事項172件と6月までの3か月間の暫定予算案等を審議し3月18日に無事終了いたしました。

今後は新市長のもと合併時に策定されていた『新市建設計画』に沿って新しいまちづくりが進められるわけです。

議会も、合併という歴史的変革期のもと32名の議員によって市政が行われます。

議員は自らそれぞれの立場で皆さんの悩みや願いを真摯に受け止め、直ちに市政に反映させていく努力が、今求められている最も大切なことではないかと思っています。

『議会だより』も新市発足を機に、できる限りの工夫と改善を試みました。議会と市民のパイプ役として未長くご愛読いただくためにも、市民の皆さん一人ひとりの貴重なご意見を大事にしていきたいと思っています。

やない議会だより編集特別委員会

委員長	鬼武 利之
副委員長	中元 茂雄
委員	川崎 孝昭
委員	光野 恵美子
委員	福谷 泰男
委員	藤坂 元啓